

世 界 史

(問 題)

2007年度

〈 H19011121 〉

注 意 事 項

1. 問題冊子は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～8ページに記載されている。
3. 解答はすべてマーク解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙の所定欄に氏名のみを記入すること。
5. マーク欄ははっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムでていねいに、消し残しがないようよく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	● 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	● 悪い	○ 悪い

6. 問題冊子は持ち帰ること。

I 7世紀アラビア半島に興ったイスラームは、その後各地に広がり、幾多のイスラーム王朝を誕生させたが、被征服民の文化遺産や彼らの技術を活用することで、それぞれの地域に独特のイスラーム建築を残してきた。これに関連するAからCの文章を読み、各設問に答えなさい。

A. ウマイヤ＝モスクは、8世紀初頭に建設されたもので、現存する最古のモスクといわれている。このモスクは、聖ヨハネ教会の敷地を接収して建てたもので、教会の壁の一部が転用されている。この時代、キリスト教徒をはじめとする被征服民は、信仰の維持を保障してもらう代わりに、人頭税（ジズヤ）を要求された。

(1) 下線1が建設された都市の記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア 7世紀、この都市に王朝を開いたのは、シリア総督ムアーウィヤである。

イ この都市は、16世紀初頭よりオスマン帝国の一州都となった。

ウ フェニキア人は、この都市を拠点に中継貿易を行った。

エ この都市は、第一次世界大戦後、フランスの委任統治下に置かれた。

(2) 下線2のキリスト教徒とイスラームの関係に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア イスラームは、キリスト教徒を「啓典の民」とみなし、信仰の自由を認めた。

イ キリスト教徒は、アイユーブ朝から聖地を奪回するために第1回十字軍を組織した。

ウ バルカン半島のキリスト教徒の子弟を強制的に集めた歩兵軍団をイエニチェリという。

エ イベリア半島に逃れたウマイヤ朝の一族は、後ウマイヤ朝を樹立したが、これに抵抗するキリスト教徒が国土回復運動を興した。

(3) 下線3に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア ウマイヤ＝モスクを建てたこの王朝は、被征服民に対して人頭税のほか、地租（ハラージュ）も要求した。

イ アッバース朝は、新改宗者に人頭税を課さなかった。

ウ ムガル帝国の第3代皇帝アクバルは、非イスラーム教徒に課されていた人頭税を廃止したが、第6代皇帝アウラングゼーブは人頭税を復活した。

エ セルジューク朝がイクター制を広めたために、西アジア一帯で人頭税が徴収されるようになった。

B. 13世紀初頭、北インドに、インド最初のイスラーム王朝を開いたアイバクは、72メートルあまりの巨大な光塔の建立を命じたことで知られている。この時代に建てられた多くの著名な建築物は、破壊したヒンドゥー教寺院の石材を利用しただけでなく、ヒンドゥー教徒の石工や職人たちの力を借りたために、イスラーム建築にヒンドゥーの伝統様式が混交した独自のものとなった。

(1) ムガル帝国によるインド統一まで、下線4の王朝を含む5つの王朝がデリーを都として北インドを支配した。

それら5つの王朝に含まれないものを一つ選びなさい。

ア サッファール朝 イ トゥグルク朝 ウ ハルジー朝 エ サイド朝

(2) 下線5に関する記述として正しいものを一つ選びなさい

ア アイバクは、アフガニスタンを拠点とするガズナ朝につかえたマムルークである。

イ アイバクは、ラージプート勢力と協力してゴール朝を破った。

ウ アイバクは、奴隷王朝を倒してデリーにイスラーム王朝を開いた。

エ アイバクは、デリーを都としてスルタンを名乗った。

(3) 下線6の光塔の記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア これは、インド最古の光塔である。

イ これは、王妃の墓廟の一部として建立されたものである。

ウ これは、クトゥブ＝ミナールとよばれる。

エ 光塔とは、礼拝のときを告げるためにもちいられる塔である。

(4) 下線7の記述として正しいものを一つ選びなさい。

ア ヒンドゥー教は、ヴェーダの神々を信奉する。

イ ヒンドゥー教は、バラモン教の祭式至上主義を継承し、徹底させた。

ウ ヒンドゥー教は、シヴァ神とヴィシュヌ神の対立に基づく善悪二元論を特徴とする信仰である。

エ ヒンドゥー教は、特定の教義や聖典にもとづく宗教ではない。

C. トルコにあるハギア（セント）＝ソフィア聖堂は、それとよく似た構造をもつスレイマン＝モスクと同様の様式をもった建造物として知られているが、前者はオスマン帝国が、既存の聖堂をモスクに改修したものである。

(1) 下線8に関する記述として正しいものを一つ選びなさい。

- ア ハギア（セント）＝ソフィア聖堂は、ロマネスク様式の建造物として有名である。
- イ ハギア（セント）＝ソフィア聖堂は、ゴシック様式の建造物として有名である。
- ウ ハギア（セント）＝ソフィア聖堂内部は、ミニアチュールで覆われている。
- エ ハギア（セント）＝ソフィア聖堂は、イコン美術で有名である。

(2) 下線9の所在地として正しいものを一つ選びなさい。

- ア イスタンブル イ イスファハーン ウ アンカラ エ アレクサンドリア

(3) 下線10の記述として正しいものを一つ選びなさい。

- ア オスマン帝国は、ホルムズ島からポルトガル勢力を駆逐した。
- イ オスマン帝国のスレイマン1世は、メッカとメディナの保護権を手に入れた。
- ウ オスマン帝国の公認宗教は、スンナ派イスラーム教であるが、帝国内のユダヤ教徒には自治を与えた。
- エ オスマン帝国のセリム1世は、サファヴィー朝との戦いに勝利したのち、アイユーブ朝を破ってエジプトを併合した。

Ⅱ 西ヨーロッパ世界と東ヨーロッパ世界の成立前後の時代に起こった歴史的事項および十字軍に関連する以下の各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定欄に記入しなさい。

問1 民族移動についての以下の記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア ガリアに建国されたブルグンド王国は、カール大帝に滅ぼされた。
- イ 4世紀後半に、アジア系のフン人が西へ進み、ゲルマン系の一派である東ゴート人の大半を征服し、西ゴート人を圧迫した。
- ウ 西ゴート人は410年にローマを略奪した後、イベリア半島に移動して建国した。
- エ ゲルマンの一派のアングロ＝サクソン人は、大ブリテンにわたりケルト人を征服して建国した。

問2 古代末期以降について以下の記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア ラヴェンナを都とした東ゴート王国は、555年に東ローマに滅ぼされた。
- イ ゲルマン出身の傭兵隊長であったオドアケルは、西ローマ帝国を滅ぼした。
- ウ フン人のアッティラはカタラヌムの戦いで勝利し、パンノニアに大帝国を形成した。
- エ ウマイヤ朝イスラーム勢力は北アフリカを西進し、711年に西ゴート王国を滅ぼした。

問3 フランク人に関する以下の記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア メロヴィング家のクローヴィスによって、481年に全フランク人は統一された。
- イ クローヴィスは正統派のアタナシウス派に改宗して、ローマ教会との関係を深めた。
- ウ ビピンは751年にメロヴィング朝を廃し、カロリング朝を開いた。
- エ カロリング朝のカール＝マルテルは、トゥール・ポワティエ間の戦いでイスラーム軍を撃退した。

問4 アフリカ北岸に興り、一時地中海を制圧したが、東ローマに滅ぼされた王国はどれか。以下から正しいものを一つ選びなさい。

- ア ヴァンダル王国 イ 西ゴート王国 ウ テオドリックの王国 エ ランゴバルド王国

問5 古代・中世の宗教に関係する以下の記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア ローマ帝政末期のキリスト教会5本山のうちアンティオキア・イェルサレム・アレクサンドリアは、7世紀以降イスラーム圏に組み込まれて衰えた。
- イ ローマ教皇グレゴリウス1世は、ゲルマン人、とくにアングロ＝サクソン人への布教に熱心だった。
- ウ 6世紀にベネディクトゥスは、東方に起源をもつ修道院を西方に導入し、フランスのモンテ＝カシノに修道院を開いた。
- エ ビザンツ皇帝レオン3世は、聖像禁止令を發布した。

問6 ビザンツ世界に関する以下の記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア ビザンツ帝国では屯田兵制が導入され、小土地所有の自由農民が増えた。
- イ マケドニア朝はイスラーム勢力やブルガリアなどと戦い、領土を拡大した。
- ウ ビザンツ帝国では帝国の領土を軍管区に分け、司令官に行政の権限を与える地方統治制度が導入された。
- エ ヘラクレイオス1世はプロノイアをはじめて実施した。

問7 ビザンツ文化に関する以下の記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア ビザンツ帝国の文化は、イタリア＝ルネサンスの成立にも大きな影響を与えた。
- イ ユスティニアヌス帝は、トリボニアヌスに命じて『ローマ法大全』を編集させた。
- ウ ビザンツ帝国では、7世紀以降ギリシア語が公用語化され、ギリシアの古典がさかんに研究された。
- エ 6世紀半ばに、サン＝ヴィターレ聖堂がヴェネツィアに建てられた。

問8 十字軍とその提唱者に関する以下の記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア インノケンティウス3世は第5回十字軍を提唱し、イギリス王・フランス王・ドイツ皇帝を破門した。
- イ ウルバヌス2世はクリュニー修道院出身で、クレルモン宗教会議を招集した。
- ウ リチャード1世は、第3回十字軍の提唱者の一人であった。
- エ 第6回十字軍を主導したのは、ルイ9世であった。

問9 十字軍の活動に関する以下の記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア ヴェネツィアが中心となった第5回十字軍は、ラテン帝国を樹立した。
- イ フリードリヒ2世はアイユブ朝との交渉により、一時期イエルサレムを回復した。
- ウ 第4回十字軍の後に出発した少年十字軍は、失敗に終わった。
- エ 第3回十字軍は、クルド人のサラディンと戦った。

問10 ノルマン人の活動に関する以下の記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア ウィリアム1世は、イングランドを征服してノルマン朝を樹立した。
- イ ノルマン系のルッジェーロ2世は両シチリア王国を建国した。
- ウ 8世紀頃、デーン人がユトランド半島を中心にデンマーク王国を形成した。
- エ アルフレッド大王はヘースティングズの戦いで勝利し、デーン人の侵入を撃退した。

Ⅲ 以下の各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定欄に記入しなさい。

問1 ガンディーとインド民族運動に関する次の説明を読み、下記の選択肢から正しい文章を一つ選びなさい。

ガンディーの非暴力運動は、西欧を文明、秩序、理性的とみなし、それと対照的に、植民地を後進、暴力的、無知とみなす西欧中心の見方そのものに対する批判でもあった。

- ア ガンディーが、西欧の方こそ暴力的、非文明的であるとして告発したものの一つが、ローラット法である。
- イ ローラット法に抗議するインド民衆とイギリス軍との衝突で1000人を超える死傷者を出したラホール事件をうけて、ガンディーは非暴力の「非協力運動」を指導した。
- ウ イギリス植民地統治は、生活必需品である小麦の生産を専売法によって禁じた。こうした法の名による暴力に対して抗議するために、ガンディーはハンガー＝ストライキを行った。
- エ 1929年、ネルーら国民会議派内の急進派は完全独立を決議し、非暴力・不服従運動からの戦略転換を図った。これにより、ガンディーは運動の中止を余儀なくされた。

問2 19世紀アメリカの政治体制に関する次の説明を読み、下記の選択肢から正しい文章を一つ選びなさい。

1820～30年代のジャクソニアン＝デモクラシーと呼ばれる時代には、白人男性普通選挙制が採用され、政治の大衆化が進む中で、二大政党制の基がつくられた。一方、選挙権を与えられなかった女性は、家庭において良き国民を養育する役割を担うことで、政治という公的領域をその枠外から支えることとなった。

- ア 女性が社会運動の主な関心対象としたのは、政治よりも、女性としての特性を発揮できる社会や教育の健全化などの分野であった。
- イ 女性が選挙権を獲得するのは、第二次世界大戦末期の1944年になってからである。
- ウ 1863年の奴隷解放宣言は奴隷の法的自由を明文化したが、これによって投票権を得たのは解放黒人の男性のみであった。
- エ 白人男性中心の民主主義政治が発展する中で、インディアン強制移住法の制定によって南部諸州の強制収容所へ送られたアメリカ先住民も政治の枠外に置かれた。

問3 19世紀イギリスにおける資本主義発展の中での女性およびエスニック＝マイノリティに関する次の説明を読み、下記の選択肢から正しい文章を一つ選びなさい。

英国資本主義発展の下支えの役割を担ったのは、主に未熟練の低賃金労働力として産業構造の下層に位置付けられた女性とエスニック＝マイノリティであった。

ア 女性は、工場の産業労働者として社会に進出し、選挙権を獲得していった。

イ 男女間の賃金格差撤廃が実現するのは、1871年の労働組合法によってである。

ウ クロムウェルによる正式併合以来、アイルランドはイギリスの支配下にあったが、ジャガイモ飢饉をきっかけとして、多くの移民がイギリス工業諸都市へ流入した。

エ イギリスにおけるアイルランド人移民は、急激な人口の都市集中がもたらしたスラム化や疫病の流行などの都市問題の元凶とみなされ、嫌悪や恐怖の対象となった。

問4 アメリカにおける移民に関して以下の設問に答えなさい。

(1) 正しい文章はどれか。以下から一つ選びなさい。

ア アジア系移民の初期の集団は、主として中国系の人々であった。かれらは19世紀末から、カリフォルニアにおける金鉱採掘や大陸横断鉄道建設の労働力となった。

イ 中国系移民は、当初、低賃金で過酷な労働に耐え勤勉であるとして、賞賛を込めてクーリーという愛称で呼ばれ歓迎された。

ウ アメリカへの移民は、19世紀初めまで北欧や西欧からのヨーロッパ系移民が主であった。

エ ヨーロッパ系移民にとって、中国系移民は、職を奪い賃金の一層の低下を引き起こす存在として、脅威と偏見の対象となった。

(2) 誤りを含む文章はどれか。以下から一つ選びなさい。

ア 1904年に中国系移民の禁止が法制化された後、かれらに代わって日本人が、低賃金労働力としてアメリカ本土への定住移民を始めた。

イ カリフォルニア州などでは、日系移民に対する一連の差別的法律の制定や排日運動が行なわれた。

ウ パリ講和会議では、カリフォルニアなどでの日系移民排斥に対する憂慮も含めて日本政府が提出した人種差別撤廃案は、否決された。

エ 1924年の移民法は、北欧・西欧からの移民を優先し、その他の移民に対する割り当てを厳しく抑えたが、日本からの移民は完全停止となった。

問5 南アフリカのアパルトヘイト体制と、アフリカ人による運動に関する次の説明を読み、下記の選択肢から正しい文章を一つ選びなさい。

有色人種に対する差別と隔離は、19世紀にすでに始まっていた。アフリカ人を一定地域に隔離し、かれらを労働力として調達することが一貫した目的であった。すべての民族の平等を唱えるアフリカ民族会議などは、ガンディーの非暴力運動の影響をうけて不服従闘争も行なった。

ア アフリカ人による民族運動の拡大と過激化に対し、デクラーク大統領は1960年、アフリカ民族会議などの主要組織を非合法化した。

イ アフリカ民族会議の指導者の多くが投獄されたため、マンデラらは拠点をアメリカへ移して反対運動を続けた。

ウ アパルトヘイト体制を続ける南アフリカ共和国は、国際連合の経済制裁を受けて国際社会でも孤立を深めた。

エ すべての人種が平等の選挙権を持って参加した1994年の総選挙の結果、マンデラを大統領、ヨーロッパ系白人のボタを副大統領とする新政府が誕生した。

問6 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。

冷戦後の世界秩序の下では、イデオロギーに代わりアイデンティティをめぐる紛争や文化摩擦が国際政治を特徴付けるようになった。様々なマイノリティの運動も、自身の文化やアイデンティティを主張し、取り戻すことを目的とする点において共通する。メキシコの¹サパティスタも、²従軍慰安婦となったアジアの女性も、それぞれ、自身の文化やアイデンティティが歪曲・削除された「メキシコ史」「日本史」の書き直しを要求する。³中国と日本との間の「歴史」をめぐる摩擦も、同様の観点から考察することが出来る。

(1) 下線1の現代のサバティスタたちは、その名前を、メキシコ革命の農民運動指導者であったサパタに因んでつけた。メキシコ革命は、ラテンアメリカ最初の本格的な民主主義革命であったが、1911年、サパタらが追放した大統領は誰か。以下から一つ選びなさい。

ア ディアス イ マデロ ウ ファレス エ カランサ

(2) 下線2の従軍慰安婦問題は、1990年代から急増したトランスナショナルなNGO、とくに女性団体の支援運動の国際的展開により、単に女性としてではなく、人間としての権利たる基本的人権に対する犯罪として再定義されるようになった。このような状況において日本政府が1995年にとった対策は何か。以下から一つ選びなさい。

ア 国家としての責任を認め、賠償金を支払った。

イ 国連人権委員会が採択した、従軍慰安婦が国際法違反の戦争犯罪であるとする報告書を承認した。

ウ 女性のためのアジア平和国民基金を発足させ、民間から寄金を募った。

エ 中学及び高校の歴史教科書に従軍慰安婦に関する記述を掲載することを義務づけた。

(3) 下線3は、一般的には第二次世界大戦と称される、先の戦争に対して日本と中国とが、互いに相容れない解釈をとったことにも起因する。日本側は、欧米帝国主義列強の植民地支配からアジアを解放するためのAと呼んだ。一方、中国側は、日本の帝国主義侵略に対するBとして戦った。

(3-A) Aについての説明として、正しいものを一つ選びなさい。

ア ABCDラインの形成をもって、米国が宣戦布告し、日本が米帝国主義のアジア侵略に対して立ち上がった戦争。

イ 欧州における英仏の対独宣戦を受けたアジア太平洋地域における日米間の戦争。

ウ 日本がアジア諸民族と連帯した反ファシズム・反共産主義戦争。

エ アジア諸民族の共存共栄のための大東亜共栄圏建設を目指した戦争。

(3-B) Bについての説明として、正しいものを一つ選びなさい。

ア 国民党と共産党が協力して戦った抗日民族統一闘争。

イ 汪兆銘の率いる国民党が米英の支援のもとに戦った抗日闘争。

ウ 抗日・蒋介石国民党政府打倒を掲げて共産党八路軍が主導した人民闘争。

エ 共産党が、ヨーロッパ・アフリカ・アジアの共産主義諸国民と連帯し、日独伊防共協定による国際ファシズム戦線に抗して戦った反帝国主義・反ファシズム人民戦争。

IV 次の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定欄に記入しなさい。

ロシア以上に、この100年の間で、政治経済社会等あらゆる分野において、幾度にもわたって激しく揺り動かされた経験を有する国はないであろう。¹1991年末のソ連の崩壊による大変動によって、ロシアという国家の本質的な特性も変貌した。近代以降のロシアの歴史は、²ツァーリズム及びソヴィエト主義のいずれにおいても、強権的な「帝国」の歴史であった。ロシアは、³ソ連の崩壊によって、その「帝国」的特性と多くの領土を失い、新たな政治経済社会環境に直面しなければならなかったのである。

⁴ロシア革命を導いた⁵共産主義イデオロギーは完全に放棄され、⁶ゴルバチョフによって始められたペレストロイカに代表される民主化・自由化プロセスや政治経済改革は、⁷ロシア連邦になっても継承され、成果を出すようになっていった。

ロシアにとっての、ここ20年の最大の変化は、世界に対する外交的影響力を著しく低下させたということであろう。

⁸1989年までソ連は米国と対等の立場で議論し、覇を競う超大国であった。⁹冷戦時代における社会主義陣営のリーダーとして、その驚異的な軍事力を背景に、世界のあらゆる地域に多くの同盟国を有していた。しかし、ソ連崩壊後、同盟国は少なくなり、かつて国際政治学者のアロンが「他者に対して自らの意思を押し付ける能力」と定義付けた「パワー」を行使することは出来なくなっていた。

しかしながら、激動の時代による政治経済的な停滞を経て、今日、豊富なエネルギー資源や原油高による好景気を背景に、ロシアは確実に変貌を遂げつつある。プーチン大統領は、「強いロシア」の復活を国家目標とし、積極的な首脳外交を展開し、2006年には史上初めてサミット(G8)¹⁰を自国で開催している。

問1 下線1に関連する出来事を時系列的に並べた場合、適切なものを一つ選びなさい。

- ア ゴルバチョフソ連大統領就任→ワルシャワ条約機構解体→保守派クーデター→バルト3国独立回復
- イ ワルシャワ条約機構解体→ゴルバチョフソ連大統領就任→バルト3国独立回復→保守派クーデター
- ウ ゴルバチョフソ連大統領就任→保守派クーデター→バルト3国独立回復→ワルシャワ条約機構解体
- エ ワルシャワ条約機構解体→ゴルバチョフソ連大統領就任→保守派クーデター→バルト3国独立回復

問2 下線2に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア ピョートル1世は、オスマン帝国と戦いアゾフ海の制海権を奪ったり、北方戦争でスウェーデンを破ったりした。
- イ アレクサンドル2世は、1861年に「農奴解放令」を發布し、近代化の筋道をつけたが、ポーランドで大規模な反乱が起こると、反動化の兆候を見せた。
- ウ ニコライ1世は、デカブリストの乱を鎮圧し、強権的な専制政治を行ったが、露土戦争の際に謎の死を遂げた。
- エ エカチェリーナ2世は、啓蒙専制君主であったが、プガチョフの反乱やフランス革命後は反動化した。

問3 下線3に関する記述として下記の問いに答えなさい。

(1) 下線3に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 独ソ不可侵条約に基づいて侵攻するソ連に苦しまれたフィンランドは、第二次世界大戦後、ソ連に対抗するためにNATOに加盟した。
- イ スターリンは、ナチス=ドイツに対抗するために資本主義諸国とも提携する姿勢を見せ、仏ソ不可侵条約を強化し、仏ソ相互援助条約を締結した。
- ウ 1953年、スターリンの死後、マレンコフが首相に就任し、フルシチョフが第一書記に就任した。
- エ スターリンは世界革命路線を退け、一国で共産主義を構築する「一国社会主義」政策を標榜した。

(2) 下線3に関して、フルシチョフが「スターリン批判」を行ったのは1956年であるが、下記から1956年に起こった出来事ではないものを一つ選びなさい。

- ア スエズ戦争 イ 日ソ国交回復 ウ ワルシャワ条約機構の成立 エ ポズナニ暴動

問4 下線4に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 臨時政府は、英仏との関係を尊重し、対独戦を継続する姿勢を取った。レーニン戦争反対を訴え、戦争継続の姿勢を取る臨時政府を批判した。
- イ 1918年にブレスト=リトフスク条約が締結されると、ポリシェヴィキに協力していた社会革命党左派は政権を離れ、共産党と改称する。
- ウ 三月革命の際にドゥーマ議員を中心として臨時政府が発足した。他方で、労働者や兵士を代表とするソヴィエトも組織される。両権力機構が併存し、対立する二重権力状態がしばらく続いた。
- エ 1917年の国際婦人デーに、首都ペトログラードで食料配給の改善等を求めるデモが三月革命の発端となった。

問5 下線5に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア マルクスによれば、資本主義国家とはブルジョアジーがプロレタリアートを支配するための階級支配の道具であった。
- イ マルクスは、ヘーゲルの弁証法をフォイエルバッハの唯物論に結び付けて、弁証法的唯物論を確立し、社会主義社会実現の方向性を示した。
- ウ エンゲルスは、恵まれた財力でマルクスを支援し、マルクスの死後、『資本論』の続刊に努め、各国で拡大する労働運動において指導的役割を担った。
- エ マルクスは、エンゲルスと1848年に『共産党宣言』を刊行した後、第1インターナショナルやコミンテルンを組織した。

問6 下線6に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア ゴルバチョフは、ペレストロイカを提唱し、本格的なソヴィエト体制の改革に着手した。また、チェルノブイリ原発事故を契機としてグラスノスチを推進した。
- イ ゴルバチョフは、1985年、アンドロポフの死去を受けて、ソ連共産党書記長に就任するや、若手を登用する人事を行った。
- ウ ゴルバチョフは、レーガン大統領との米ソ首脳会談を通じて、核軍縮交渉を加速させ、中距離核戦力全廃条約（INF全廃条約）を成立させた。
- エ ゴルバチョフは、新思考外交を掲げ、アフガニスタンからの撤退や中ソ関係の正常化などの政策を遂行した。

問7 下線7に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 旧ソ連を継承したロシア連邦では、旧ソ連共産党の解体も継続し、共産党は非合法化された。
- イ エリツィン大統領は、内政面では市場経済への移行を目指して経済改革を行い、外交面では米国や西側諸国との協調路線を追求した。
- ウ 1997年、ロシア連邦はNATOとの相互協力を強化する「NATO・ロシア基本文書」に調印した。
- エ ロシア連邦は、チェチェンの分離独立を阻止するために軍事介入を行った。

問8 下線8の1989年に起こった出来事を時系列的に並べた場合、適切なものを一つ選びなさい。

- ア ベルリンの壁開放→マルタ島における米ソ首脳会談→ホネカー書記長の退陣→チャウシェスク大統領夫妻処刑
- イ ホネカー書記長の退陣→ベルリンの壁開放→マルタ島における米ソ首脳会談→チャウシェスク大統領夫妻処刑
- ウ ベルリンの壁開放→ホネカー書記長の退陣→マルタ島における米ソ首脳会談→チャウシェスク大統領夫妻処刑
- エ ホネカー書記長の退陣→マルタ島における米ソ首脳会談→チャウシェスク大統領夫妻処刑→ベルリンの壁開放

問9 下線9に関する記述として下記の問いに答えなさい。

(1) 下線9に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア キューバ危機の際、ソ連は米国と激しく対立し、核戦争勃発寸前までに至ったが、最終的にはフルシチョフは妥協した。
- イ プレジネフは、チェコスロヴァキアの民主化運動を武力で圧殺し、「社会主義共同体の利益は各国の個別利益に優先する」とし、内政干渉を正当化した。
- ウ 1960年代の中ソ対立の下、1969年に中国とソ連の両軍が武力衝突するというダマンスキー島事件が発生した。
- エ アルバニアは、中ソ論争でソ連を支持したが、ブレジネフとの関係が悪化し、1968年にワルシャワ条約機構から脱退した。

(2) 下線9に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 1979年、ソ連がアフガニスタンに侵攻し、これに反発した米国や日本等は1980年のモスクワ=オリンピックをボイコットした。
- イ 西ドイツのブラント首相は積極的に「東方外交」を推進し、1970年にソ連=西ドイツ武力不行使条約を締結した。
- ウ 1970年代のデタント期に、米ソは戦略兵器削減条約を締結し、核弾頭や運搬手段の削減を実施した。
- エ 1975年にヘルシンキで成立した全欧安保協力会議（C S C E）は、1995年に全欧安保協力機構（O S C E）と改称し、常設機構として発足した。

問10 下線10のサミットの第1回会合が開催されたのは、1975年であったが、同会議の開催を提案したのは誰か。以下から一人選びなさい。

- ア ジスカールデスタン大統領 イ シュミット首相 ウ フォード大統領 エ サッチャー首相

[以下余白]